

科 目 名	レクリエーション支援論					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	添 田 譲 二						
開 講 年 次	2	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	現代社会の中で、余暇やレクリエーションのもつ意味も、単なる気晴らしではなく充実した人生づくりの基盤のひとつへと変化をしてくている。 このような中で、レクリエーションがもっているプラスの価値をどのような支援体制の中で展開すれば良いかを解説する。 さらに、個人余暇レベルから社会参加レベルまでの余暇充実のための支援方法を解説する。						
授 業 の 到 達 目 標	①レクリエーションの歴史を理解する。 ②レクリエーションの必要性と役割を理解する。 ③レクリエーションの支援者の役割を理解する。 ④レクリエーション支援者として必要な人間性や人間関係援助力を説明できる。 ⑤レクリエーションの素材に対して関心や興味をもつようになる。 ⑥レクリエーション支援のための企画力や支援技術力を高める。						
学 習 方 法	講義（実技を取り入れながら進める）						
テキスト及 び参考書等	『レクリエーション支援の基礎』（楽しさ・心地よさを生かす理論と技術） 財団法人 日本レクリエーション協会 発行						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						評価割合%
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎				60	
小テスト等	○	○				20	
宿題・授業外レポート							
授業態度			○			10	
受講者の発表							
授業への参加度			○			10	
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	レクリエーションの意義						
第 2 週	レクリエーション運動を支える制度						
第 3 週	レクリエーション支援の考え方						
第 4 週	レクリエーション支援者に期待される役割						
第 5 週	ライフスタイルとレクリエーション						
第 6 週	高齢者社会の課題とレクリエーション						
第 7 週	個人・集団・環境へのレクリエーション支援						
第 8 週	少子化の課題とレクリエーション						
第 9 週	地域とレクリエーション						
第 10 週	レクリエーション・サービス論（1）(企画)						
第 11 週	レクリエーション・サービス論（2）(企画)						
第 12 週	レクリエーション・サービス論（3）(評価と安全)						
第 13 週	望まれる支援者像（1）						
第 14 週	望まれる支援者像（2）						
第 15 週	まとめ						
第 16 週	試験						
備 考							